

第 35 回

定期決算総会議案

平成26年度 事業報告書

平成26年度 正味財産増減計算書

貸借対照表

財産目録

その他の

日 時 平成27年6月12日(金) AM 9:15 受付開始

場 所 なかのZERO 小ホール
中野区中野2-9-7 TEL 03-5340-5000

一般社団法人 **東京都医薬品配置協会**

※当日この資料を必ずご持参下さい。

第35回 決算総会式次第

平成26年度 物故者氏名 栗林雅廣 様

司会 岡 田 松 市

午前9時30分～

1. 開会の辞 小 川 副会長
2. 会長挨拶 高 山 会 長
3. 来賓祝辞 祝電披露
4. 議長選任
5. 定数報告及び議事録署名人の指名
6. 議案審議
 - 第一号議案 平成26年度 事業報告承認の件 服 部 副会長
 - 第二号議案 平成26年度 決算報告承認の件 岡 田 会 計
監 査 報 告 石 倉 監 事
 - 第三号議案 その他 服 部 副会長
7. 表彰状授与
 - (1) 永年勤続者表彰
 - ・配置員表彰 50年、60年
 - ・配置販売業者表彰 10年
 - ・優良配置販売業者表彰
 - (2) 受賞者代表謝辞
8. 閉会の辞 室 井 副会長

注: 正午より

第三回 資質向上講習会 午前11時45分受付 正午～午後16時40分

内容 : 「免疫と免疫力」 (第三章 主な医薬品とその作用)

「眼病について」 (第一章 医薬品に共通する特性と基本的知識)

講師 : 元厚生省薬務局審査第二課 課長 渡邊 徹 先生

スローガン

1. 先用後利の精神に則り都民の保健衛生向上に寄与しよう。
2. 配置薬によるセルフメディケーションを推進し、地域医療に参入しよう。

ごあいさつ

会長 高山友三郎

我が国では、急速な少子高齢化の到来と本格的な人口減少、高度情報化に伴うライフスタイルの変化やインターネット販売など、改正薬事法による販売制度の導入に伴い新たな発想による対応が求められています。

国の健康医療政策からも、自分の健康は自分で管理するセルフメディケーションが不可欠であり、その推進に努めなければなりません。

配置販売業として顧客に対し情報の提供・相談応需はもとより、一般薬や健康食品を活用したセルフメディケーションの必要性を積極的に訴えて行く事こそ国民医療に貢献、配置業界の活性化に繋がるものと考えております。

今年4月から「食品の新たな機能性表示制度」が導入、表示としては健康維持・増進に関する表現とし、身体の特製の部位に言及した表現も可能となります。

配置薬は日本独自の販売形態であり、配置従事者は独居高齢者宅を直接訪問する機会もあることから、一人暮らし世帯の見守りの役割も期待されるとともに、超高齢化社会が進む中において、医療・福祉の隙間を埋める役割が期待されます。

地域医療に貢献する配置薬業として、その役割はますます重要となり、都民から信頼される担い手として強く望まれるものと考えます。

一般社団法人 東京都医薬品配置協会のさらなる発展とともに、会員の皆様のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 26 年度 事業報告書

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

一般社団法人東京都医薬品配置協会

[概況]

戦後我々が国の驚異的な発展を支えてきた経済のシステムやものの考え方が時代に適合しないものも出てきている事は事実であり、常に現実に対応し発想を転換し、躊躇なく脱皮を図って行かなければ生き残りが困難だと考えます。

1年365日の区切りを人生という階段の一段一段に例えれば、5年10年の区切りは途中に設けられた踊り場です。

迎えた年は戦後70年の節目であり、多くの人がそこにたらずんで来し方を顧み、行く末を見つめる絶好の年です。

年ごとの階段が“神様”の創造物とすれば踊り場は「過去を忘れるな、振り返れ」と人間が自らを戒めて設けた知恵の創造物に違いありません。

今年は大きな事件・事故の節目となります。

20年前阪神淡路大震災や地下鉄サリン事件、10年前のJR福知山線脱線事故、それぞれ時を経て、教訓が今に生かされているか問い直したい時ではないでしょうか。

こうした中、一般社団法人東京都医薬品配置協会では配置薬業の活性化を図る為、各種研修会を開催、配置従事者の資質向上に取り組む他、後継者の確保育成経営体質の強化、更には配置薬の安全性や利便性などのPR活動にも積極的に取り組んでおります。

我が国では急速な少子高齢化社会の到来と本格的な人口減少、高度情報化の進展など社会環境が大きく変化していることから、さまざまな分野において新しいシステムづくりや構造改革が進められています。

昨年11月には、薬事法改正に伴い「薬事法」という法律の名称も改正され、「医薬品医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」となりました。名称が示すように再生医療も含めた医療機器を重視した他、医薬品等すべてにおいて品質、有効性、安全性を強く求める姿勢が表れています。配置業界では、配置員は廻商する際、指定第2類医薬品に関して添付文書等を用いて消費者に適切な情報提供を行わなければなりません。

そして「区域の管理者と運営に関する事項」「お薬の販売方法」の改定を受け、文書をお得意先に配布しなければなりません。

また、新たに使用期限を超過した医薬品の販売等の禁止が規定され、配置期限切れ医薬品の配置を防止するこれまで築いてきた消費者の信頼を確保する為、国民

の保健衛生と健康増進に貢献するため、取組方針が定められました。

定期的な訪問、期限確認と期限管理を徹底し、不廻り放置得意による期限切れ商品の配置など、業界を失墜させる行為や、安全性にも十分気を配らなければなりません。

一般社団法人東京都医薬品配置協会ではこれまで幾多の試練を乗り越え、その重要な使命と責務を課してきました。

今後も一般社団法人として従来 of 指導振興事業に加え、献血事業や麻薬覚せい剤乱用防止事業への協力など積極的に貢献して参ります。

会員の皆様一人一人のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

I 会議等

1. 決算総会 : 平成26年6月10日 なかのZERO小ホール
(1) 平成25年度 事業報告、決算報告を承認
(2) その他の件
(3) 表彰状授与 優良配置業者 3名、永年勤続者18名

予算総会 : 平成27年3月13日 なかのZERO小ホール
(1) 平成27年度 事業計画、収支予算案を承認

執行部会 4月15日 ① 決算総会資料作成準備
〔教育担当〕 8月8日 ① 平成27年資質向上講習会内容検討会
委員会 ② 関東ブロック会長会議の件
11月21日 ① 27年度予算案の件

役員会 5月7日 ① 監査会
② 決算承認、決算総会、協会会長表彰の件
③ 資質向上講習会の件
④ 定款変更の件
⑤ その他、行事の件
通信教育、委託講習会、消費者講座(薬草勉強会)
10月7日 ① 関東ブロック会長会議提出議題の件
② 10月一斉献血の件
③ 資質向上講習会の件
1月16日 ① 平成27年度予算案の件
② 27年第1回・第2回資質向上講習会の件
③ 薬事関係功労者表彰の件

2. 支部活動

各支部 : 4月に支部総会及び講習会実施

西部支部 (多摩支部) : 8月27日 薬草勉強会、「ダメ。ゼッタイ。」募金活動

多摩支部 西部支部 : 27年1月29日 多摩・西部支部合同新年総会・講習会

II 事業内容

1. 教育事業

(1) 講習会

- ・ 薬事講習会 (支部会員対象)

4月3日 東部支部 「ダニとLDLコレステロールについて」

講師: 帝都組合 岩崎薬剤師

4月22日 多摩支部 「正しい健康の常識」

講師: 岩瀬一郎

4月22日 西部支部 「正しい健康の常識」

講師: 岩瀬一郎

} 合同実施

- ・ 薬事講習会: 東京都より委託 (東京都登録、全 配置販売業者対象)

9月10日 都民ホール

「最近の薬務行政について」

東京都福祉保健局健康安全部薬務課 担当課長 早乙女芳明

「伝統薬を活用しよう(動物生薬 編)」

「危険ドラッグ(危険ハーブ)に手を出すな！」

東京都薬物専門講師・元薬用植物園園長 清水虎雄

(2) 一定水準30時間資質向上講習会 (東京都登録、全 配置販売業者対象)

4月11日 なかのZERO小ホール

第4章 薬事関係法規・制度

「改正薬事法の細則厚生労働省局長通知等」

第6章 配置販売業者に求められる理念・

「お客様との接客マナー」

救心製薬(株) 薬事部 部長 清水虎雄

第3章 主な医薬品とその作用

「胃腸に作用する医薬品とピロリ菌」

第5章 医薬品の適正使用・安全対策

「かゆみと薬」

元 厚生省薬務局審査第二課 課長 渡邊徹

6月10日 なかのZERO小ホール

第2章 人体の働きと医薬品

「良い微生物、悪い微生物(ウイルス含む)」

元 厚生省薬務局審査第二課 課長 渡邊徹

8月5日 帝都医薬品配置協同組合会議室

第3章 主な医薬品とその作用

「医薬品の正しい服用方法 他」

(一社)東京都病院薬剤師会 監事 今泉真知子

2月21日 なかのZERO小ホール

第3章 主な医薬品とその作用

「呼吸器官に作用する薬、禁煙補助剤とその作用」

「逆流性食道炎と言われたら」

医療法人 秋葉病院薬剤科 科長 今泉真知子

3月13日 なかのZERO小ホール

第4章 薬事関係法規・制度

「医薬品販売の最新情報」

第5章 医薬品の適正使用・安全対策

「自己免疫疾患について」

第6章 配置販売業に求められる理念

「危険ドラッグについて」

元 薬用植物園園長 清水虎雄

2. 都民に対する薬事知識の普及啓発事業

(1) 消費者講座: 8月27日 薬物乱用防止と薬草勉強会

参加者 31名 担当 西部支部(多摩支部)

園内にはキャラバンカーを呼び、東大和市駅前では多摩・東部・西部各支部員により「ダメ。ゼッタイ。」の募金活動が行われた。また、東京都薬務課麻薬対策係主任の大谷貴子先生のお話と、東京生薬協会 北川重美先生によるお話の後、北川先生による説明を聞きながら植物園内を見学。

(2) おきぐすり相談窓口

相談件数3件の内、行政における消費者相談の窓口からは2件、消費者から1件
(内2件は、不廻り薬箱引き取り対応)

3. 薬務行政協力事業

(1) 麻薬・覚せい剤撲滅運動に対する協力

6月28日「6・26」国際麻薬乱用撲滅デー」都民の集い(東京都主催)

有楽町駅前広場

高山会長以下24名が参加し、募金の呼びかけ、紙風船の配布等参加協力した。

(2) 献血協力

10月19日: 立川献血ルーム、献血ルーム池袋い〜すと、
新宿東口献血ルーム

当会員関係より32名の協力を得て、当日の総採血数502名の実績を残した。

4. 配置薬業向上改善事業

(1) 機関紙「あゆみ」 62号発行

(2) 関係団体会議他出席

平成26年	5月22日	関東ブロック会定期総会	・・・於) 茨城
	7月17日	全配協配置部会定期総会 社員総会・記念講演会	・・・於) 東京
	10月23日	関東ブロック会	・・・於) 埼玉
	11月28日	全配協会長会議、懇親会	・・・於) 東京
			以上

平成26年度 正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで
(第35期)

(単位：円)

科 目	決 算 額			備 考
	当 年 度	前 年 度	増 減	
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
1 受 取 会 費	6,549,000	6,750,000	△ 201,000	予算 160名 決算 155名 { 甲 160名 { 甲 155名 { 乙 176名 { 乙 212名
1 受 取 会 費	6,549,000	6,750,000	△ 201,000	
2 受 諾 事 業 収 益	1,105,000	787,000	318,000	
1 全 配 協 補 助 金	422,000	100,000	322,000	資質向上対策還付金 (平成26年度分) 講習会費・都より委託費
2 資 質 向 上 対 策 費 助 成 金	476,000	480,000	△ 4,000	
3 東 京 都 委 託 金	207,000	207,000	0	
3 雑 収 益	2,103,632	1,865,533	238,099	
1 受 取 利 息	1,324	1,394	△ 70	定期預金・普通預金
2 受 講 料 収 入	1,721,000	1,383,400	337,600	一定水準資質向上講習会受講料
3 雑 収 益	381,308	480,739	△ 99,431	会費徴収手数料、手引書 他
経 常 収 益 計	9,757,632	9,402,533	355,099	
(2) 経常費用				
1 事業費				
1 指 導 教 育 に 関 す る 事 業 費	4,372,991	4,679,225	△ 306,234	
1 講 習 会 費 (協 会)	1,145,097	1,333,811	△ 188,714	
1 講 師 料	180,000	245,000		一定水準資質向上講習会 5回実施。併せて741名参加 外部講師料・交通費・印刷製本 会場費・付帯設備費等 テキスト印刷製本等
2 賃 借 料	247,220	320,990		
3 旅 費 交 通 費	83,000	66,900		
4 通 信 運 搬 費	86,977	108,410		
5 印 刷 製 本 費	424,078	452,857		
6 費 用 弁 償	103,000	129,000		
7 記 録 費	2,318	1,110		
8 雑 費	18,504	9,544		
2 東 京 都 委 託 講 習 会 費	125,026	183,240	△ 58,214	
1 講 師 料	30,000	30,000		外部講師講演料 1回実施。併せて82名参加 会場費・付帯設備費等 テキスト印刷製本等
2 賃 借 料	0	26,340		
3 旅 費 交 通 費	6,920	13,080		
4 通 信 運 搬 費	20,031	27,702		
5 印 刷 製 本 費	38,306	58,007		
6 費 用 弁 償 費	26,000	23,000		
7 記 録 費	1,710	592		
8 雑 費	2,059	4,519		
3 給 料 手 当	1,954,100	2,005,117	△ 51,017	

1	給料	1,954,100	2,005,117		職員全給料の2/3(含む残業手当)
4	賃借料	1,029,880	1,042,840	△ 12,960	
1	賃借料	1,029,880	1,042,840		全賃借料の2/3
5	表彰費	118,888	114,217	4,671	
1	記念品費	38,328	28,597		優良配置業者表彰
2	旅費交通費	6,680	7,220		永年勤続者表彰
3	通信運搬費	3,896	4,400		薬事功労賞関係表彰
4	印刷製本費	60,984	60,000		薬事功労表彰資料作成料
5	費用弁償費	9,000	14,000		
6	分担金	0	0		表彰祝賀会
2	薬事知識普及啓発のための事業費	358,644	316,781	41,863	
1	都民への薬草勉強会費	260,884	221,181	39,703	
1	広告宣伝費	104,964	54,894		薬草勉強会 都民参加
2	旅費交通費	32,310	34,180		実費交通費
3	通信運搬費	1,486	410		都立薬用植物園に於いて
4	印刷製本費	0	13,500		都民に呼びかけて開催
5	費用弁償費	79,000	79,000		
6	記録費	0	962		
7	雑費	43,124	38,235		
2	都民、消費者への情報開示費	97,760	95,600	2,160	
1	インターネット通信費	97,760	95,600		インターネットによる情報開示
2	通信運搬費	0	0		諸費
3	薬事衛生事業への協力費	482,511	827,460	△ 344,949	
1	献血促進活動費	101,192	118,880	△ 17,688	
1	旅費交通費	61,740	59,720		お手伝い者実費交通費
2	通信運搬費	5,958	5,182		お手伝い者・協力者お礼
3	費用弁償費	33,000	52,000		
4	記録費	494	1,978		
5	雑費	0	0		
2	麻薬撲滅活動協力費	381,319	308,580	72,739	
1	旅費交通費	48,840	39,380		「6・26国際麻薬乱用撲滅」
2	通信運搬費	1,779	3,668		都民の集いに協力
3	寄贈費	205,060	149,004		紙風船麻薬覚せい剤防止センター
4	印刷製本費	8,640	0		へ寄附(都委託料)
5	費用弁償費	117,000	113,000		
6	記録費	0	3,528		
3	社会福祉協力費	0	400,000	△ 400,000	
1	寄付金	0	400,000		
4	相談事業費	3,510	0	3,510	
1	電話相談費	3,510	0	3,510	
1	通信運搬費	3,510	0		
2	旅費交通費	0	0		

5	支 部 活 動 事 業 費	162,735	144,613	18,122	
1	支 部 活 動 事 業 費	162,735	144,613	18,122	
	1 東 部 支 部	35,325	47,618		実費精算方式
	2 西 部 支 部	63,434	48,296		
	3 多 摩 支 部	63,976	48,699		
6	情 報 収 集 及 び 刊 行 物 発 行 費	84,800	83,000	1,800	
1	機 関 紙 発 行 費	84,800	83,000	1,800	
	1 費 用 弁 償 費	20,000	20,000		編集・印刷
	2 旅 費 交 通 費	0	0		
	3 通 信 運 搬 費	0	0		
	4 印 刷 製 本 費	64,800	63,000		
7	上 部 団 体 会 議 費	80,280	154,260	△ 73,980	内外関係団体へ出席
1	全 配 協 会 議 費	0	39,800	△ 39,800	
	1 会 議 費	0	10,000		会議費
	2 旅 費 交 通 費	0	3,800		
	3 費 用 弁 償 費	0	26,000		
2	関 東 フ ゾ ッ ク 会 会 議 費	80,280	114,460	△ 34,180	
	1 会 議 費	45,000	45,000		会議費 交通費
	2 通 信 運 搬 費	0	0		
	3 旅 費 交 通 費	25,280	34,460		
	4 費 用 弁 償 費	10,000	35,000		
	事 業 費 計	5,545,471	6,205,339	△ 659,868	
2	管 理 費				
1	費 用 弁 償 費	253,000	311,000	△ 58,000	役員等
2	給 料 手 当	977,050	1,002,558	△ 25,508	職員給料(含む残業手当)
3	厚 生 費	572,467	589,749	△ 17,282	職員 中退金掛金・社会保険料 他(法定)
4	全 配 協 負 担 金	125,000	128,000	△ 3,000	
5	関 東 フ ゾ ッ ク 会 負 担 金	128,400	138,000	△ 9,600	
6	新 聞 図 書 費	148,571	152,030	△ 3,459	
7	旅 費 交 通 費	278,230	294,910	△ 16,680	職員定期代含む
8	通 信 運 搬 費	189,124	204,363	△ 15,239	
9	什 器 備 品 費	500	12,685	△ 12,185	
10	消 耗 品 費	3,580	3,876	△ 296	
11	修 繕 費	0	0	0	
12	印 刷 製 本 費	10,318	15,855	△ 5,537	総会資料等
13	水 道 光 熱 費	152,289	146,733	5,556	
14	賃 借 料	514,940	521,420	△ 6,480	事務所・会議室

15	手数料	186,740	231,498	△ 44,758	山田税務会計顧問料¥132,529 会費徴収代行
16	損害保険料	2,926	2,926	0	
17	租税公課	80,963	80,505	458	都民税
18	雑費	182,446	172,045	10,401	慶弔費他
管理費計		3,806,544	4,008,153	△ 201,609	
経常費用計		9,352,015	10,213,492	△ 861,477	
当期経常増減額		405,617	△ 810,959	1,216,576	
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計		0	0	0	
(2) 経常外費用					
経常外費用計		0	0	0	
当期経常外増減額		0	0	0	
当期一般正味財産増減額		405,617	△ 810,959	1,216,576	
一般正味財産期首残高		7,505,479	8,316,438	△ 810,959	
一般正味財産期末残高		7,911,096	7,505,479	405,617	
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額		0	0	0	
指定正味財産期首残高		0	0	0	
指定正味財産期末残高		0	0	0	
III 正味財産期末残高		7,911,096	7,505,479	405,617	

貸借対照表
平成27年3月31日
(第35期)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1.流動資産			
現 金	376,988	87,858	289,130
普通預金	3,422,009	4,763,332	△ 1,341,323
振替貯金	866,822	600,892	265,930
当座預金	589	589	0
定期預金	3,350,000	3,350,000	0
仮 払 金	139,400	139,400	0
流動資産合計	8,155,808	8,942,071	△ 786,263
2.固定資産			
(1)基本財産	0	0	0
(2)特定資産	0	0	0
(3)その他固定資産			
電話加入権	95,154	95,154	0
保証金	204,000	204,000	0
固定資産合計	299,154	299,154	0
資 産 合 計	8,454,962	9,241,225	△ 786,263
II 負債の部			
1.流動負債			
前受会費	448,000	819,000	△ 371,000
預り金	95,866	916,746	△ 820,880
流動負債合計	543,866	1,735,746	△ 1,191,880
負 債 合 計	543,866	1,735,746	△ 1,191,880
III 正味財産の部			
1.指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
2.一般正味財産	7,911,096	7,505,479	405,617
(うち特定財産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	7,911,096	7,505,479	405,617
負債及び正味財産合計	8,454,962	9,241,225	△ 786,263

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について
該当なし
- (2) 固定資産の減価償却について
該当なし
- (3) 引当金の計上基準について
該当なし
- (4) 消費税等の会計処理方法について
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 会計方針の変更

該当なし

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増減額	当期減少額	当期末残高
基本財産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
特定資産	0	0		0
小計	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正 味財産から)	(うち一般正 味財産から)	(うち負債に 対応する)
基本財産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
特定資産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当なし

6 重要な後発事象

該当なし

財 産 目 録
平成27年3月31日
(第35期)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金			
現 金 現金手許有高	376,988		
普通預金 三菱東京UFJ銀行日暮里支店	3,422,009		
振替貯金	866,822		
当座預金 三菱東京UFJ銀行日暮里支店	589		
定期預金 三菱東京UFJ銀行日暮里支店	3,350,000		
仮 払 金 決算総会会場費等	139,400		
流動資産合計		8,155,808	
2. 固定資産			
(1)基本財産	0		
(2)特定資産	0		
(3)その他固定資産			
電話加入権	95,154		
保 証 金 帝都医薬品配置協同組合	204,000		
固定資産合計		299,154	
資 産 合 計			8,454,962
II 負債の部			
1.流動負債			
前受会費 平成27年度分	448,000		
預り金 源泉税、全配協費預り	95,866		
流動負債合計		543,866	
負 債 合 計			543,866
正 味 財 産			7,911,096

監 査 報 告 書

理事会により提示のありました事業報告書及び会計帳簿その他証憑、書類等を監査致しました結果、適正且つ正確であることを確認いたしました。

平成27年 5月 12日

一般社団法人 東京都医薬品配置協会

監 事 中 村 聰

監 事 石 倉 昌 則

監査報告書

平成 27年 5月 12日

一般社団法人 東京都医薬品配置協会
会 長 高山 友三郎 殿

一般社団法人 東京都医薬品配置協会

監 事 中 村 聡 

監 事 石 倉 昌 則 

私たち監事は、平成27年5月12日に、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの平成26年度における会計及び業務の監査を行いました。その結果につき次のとおり報告致します。

1. 監査方法の概要

- (1) 決算書類の監査のため、会計に関する帳簿、書類を閲覧し、計算書類について検討を加え、必要な検査、立会、照会及び報告の聴取その他通常とるべき必要な方法を用いて監査した。

2. 監査意見

- (1) 収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状態を正しく示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書の内容は、真実であると認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実はないと認めます。
- (4) 公益目的事業の実施が適正に行われたことを認めます。

以上

☆ 薬事功労賞受賞者芳名

東京都功労者表彰 北 島 孝 明

東京都知事感謝状 小 川 孝 一
北 宗 市
新 鋪 優
南 宗 信

☆ 平成26年度 優良配置業者表彰者

東 部 支 部 居 野 家 雅 人

多 摩 支 部 池 本 淳
野 村 明 正

西 部 支 部 岩 瀬 一 郎
北 川 年 男

☆ 永年勤続者賞

配置販売業者

・60年 梅 谷 勉
大 村 洋 三
勇 伊 康 司 郎 弟

・50年 見 角 清 晴

配置従事者

・10年 大 戸 亜 美 (三山薬品株)

(あいうえお順に記載)

会費等納入のお願いの件

本会は昭和55年4月の社団法人設立以来、今日まで医薬品のもつ倫理性及びその公益性に対する会員の皆様の充分なご理解と軽度の疾患に対するセルフメディケーションの推進並びに、その知識の啓発を通して地域住民の保健衛生確保のため努力を重ねてまいりました。本年もこの趣旨に沿い、各事業等を実施しており、これらの費用は会費をもって賄われております。

何卒上記ご理解の上、会費等の納入をお願い申し上げます。

※公益事業を円滑に遂行します上からも納入期限内(6月末日)までには是非ご協力をお願い致します。

名 称	金 額
(1) 協会費 平成27年度	
配置販売業者	19,000円
配置販売従事者(1名につき)	17,000円
(2) 全国配置薬協会賦課金	
全国体質強化費(対外交渉費等)	
配置販売業者	500円
配置販売従事者(1名につき)	500円
政治連盟費	
配置販売業者	500円
配置販売従事者(1名につき)	500円
資質向上対策費	
配置販売業者	3,000円
配置販売従事者(1名につき)	3,000円
合 計	
配置販売業者	23,000円
配置販売従事者(1名につき)	21,000円

☆全配協賦課金は他の都道府県にて納入している場合は必要ありません。